

## 令和2年度第1回江別市青少年健全育成協議会会議録（要点筆記）

日 時：令和2年8月26日（水）午前11時00分～午後0時11分

場 所：江別市教育庁舎大会議室

出席者：10名

西出勉会長、石川日出男副会長、鎌田直子委員、石山雅志委員、高橋俊文委員、  
藁島裕二委員、深瀬禎一委員、松下泰祐委員、原梢委員、山崎啓太郎委員

欠席者：4名

洞野博文委員、大場千佳委員、岩淵淑仁委員、中村律子委員

傍聴者：なし

事務局：8名

黒川教育長、萬教育部長、千葉教育部次長、佐藤学校教育支援室長、  
松井教育支援課長、布施生涯学習課青少年係長、伊藤教育支援課主査、  
遠藤教育支援課主任

次 第：1 開会

2 教育長挨拶

3 委員紹介

4 会長及び副会長の選出

5 議題

(1) 令和元年度少年健全育成活動報告書について

(2) 令和2年度江別市における青少年健全育成関連施策について

(3) 江別市の児童生徒（小4～中3）のスマホ等の使用状況について

(4) 情報交換

6 その他

7 閉会

松井課長	<p>本日は、お忙しいところ、ご出席いただきありがとうございます。 江別市教育委員会学校教育支援室教育支援課長の松井でございます。 どうぞよろしくお願いいたします。 令和2年度第1回江別市青少年健全育成協議会を開会いたします。 開会にあたり、江別市教育委員会教育長の黒川淳司から挨拶を申し上げます。</p>
黒川教育長	<挨拶>
松井課長	<p>委員の皆様を紹介いたします。</p> <p>&lt;委員紹介&gt;</p> <p>続きまして、この場をお借りして、教育委員会の出席者及び事務局職員を紹介いたします。</p> <p>&lt;事務局紹介&gt;</p> <p>次に、次第4の会長及び副会長の選出でございますが、江別市青少年健全育成協議会条例第5条第2項の規定で、会長及び副会長の選出は委員の皆様による互選ということになっておりますが、どのようにしたらよろしいでしょうか。</p>
養島委員	事務局に何か案はありますか。
松井課長	<p>ただいま養島委員から、事務局案ということで発言がございましたので、事務局案を申し上げます。会長は、学校教育等に対する知識、見識をお持ちの北翔大学の西出勉委員、副会長は、当市で長きにわたり青少年に関わる活動を行っている、江別市青少年のための市民会議の石川日出男委員にお願いしてはどうかと思っておりますがいかがでしょうか。</p>
全委員	<異議なし>
松井課長	<p>それでは、会長は西出委員、副会長は石川委員にお願いしたいと思います。会長、副会長には席を移動していただき、ご挨拶をいただきたいと思っております。</p>
西出会長、石川副会長	<挨拶>
松井課長	<p>ありがとうございました。 黒川教育長は、公務のため、ここで退席いたします。</p>
黒川教育長	<退席>
松井課長	ここからの進行は、西出会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。
西出会長	次第5 議題(1) 令和元年度少年健全育成活動報告書について、事務局から説明願います。
伊藤主査	<資料1に基づき説明>

西出会長	ただ今の説明に対し、ご質問、ご意見等はございませんか。
石山委員	不登校の定義は、全国的なものとして理解してよろしいでしょうか。
伊藤主査	文部科学省で定義しているものです。
西出会長	他にご質問等はございませんか。
全委員	<なし>
西出会長	無いようでしたら、次の議題(2) 令和2年度江別市における青少年健全育成関連施策について、事務局から説明願います。
伊藤主査、布施係長	<資料2に基づき、担当主査及び係長から説明>
西出会長	ありがとうございました。ただ今の説明に対し、ご質問、ご意見等はございませんか。
全委員	<なし>
西出会長	それでは続きまして、議題(3) 江別市の児童生徒(小4～中3)のスマホ等の使用状況について、事務局から説明願います。
伊藤主査	<資料3に基づき説明>
西出会長	ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご質問、ご意見等はございませんか。
全委員	<なし>
西出会長	これまでの事務局からの説明について何かございましたら、後ほどご発言いただければと思います。 次に、議題(4) 情報交換です。ご出席の各委員が所属する団体における「青少年健全育成に関する取組」などについてご発言いただきたいと思います。まず、各委員からお話をいただいて、その後まとめて質疑の時間を取りたいと思います。鎌田委員から順番にお願いします。
鎌田委員	江別市女性団体協議会としては、青少年への声掛けですとか、挨拶などを取り組んでおります。新型コロナ対策として、各種会合を行う際、消毒や検温を実施しており、会員にも回覧等で周知をしています。
石山委員	新型コロナの影響で、体育施設等はほとんど使用できません。町内会館などの施設では使用できたところもありますが、コミュニティセンターをはじめ、公民館も使用できませんでした。それから、大会等も消滅してしまった状態で、全国的な大会も消滅してしまいましたので、スポーツ協会の行事としては、これから改善していこうとか復活していこうという状況の中で今進めております。体育館を見ていると、新型コロナの中でなかなか十分な活動ができない状況です。例えば柔道であれば密着がないといけない、私どもの方では距離を詰めないようにするなどの対応をしています。外出の自粛により体力が戻っていない人など、来年に向けても非常に難しい中で、これから

復活していこうという状況です。それから、鬱で辞めてしまった人、出席ができなくなってしまった人や少なくなってしまった人、そういう人達が増えているように思います。ですので、これからの復活を目指してより良い方向に行きたいと思っています。

高橋委員

文京台地区民生委員児童委員協議会では、新型コロナウイルスの影響で夏休みが短くなったので、今年はラジオ体操をやらないかなと思っていましたが、子供達が喜んで来るので5日間だけ実施しました。また、夏にいつも北翔大学と札幌学院大学、酪農学園大学に行ってパトロールをやっているのですが、それも今年は中止になりました。昨年、文京台で熊が出まして、そのときに見守りを行うようになってから、ずっとやろうと思っています。

西出会長

本日の情報交換では、コロナ禍における各種行事の中止など様々な支障が生じている現状について、共通理解が図られると思います。また、コロナ禍における危機管理等について未然防止の視点からご発言をいただければ有難く思います。

蓑島委員

市内の小中学校においては、日常の教育活動を、感染症対策を徹底した上でやっており、やれることはその範囲の中でしっかりやっというところ、学校の実情や実態に応じて色々違いはありますが、児童生徒に意義のある教育活動を進めていくというスタンスで進めております。その中で忘れてはいけないのは、新型コロナ感染症に関わる子供の心のケアですが、教育委員会等の関係機関と連携をとって各校で進めているところであります。今、学校で困っていることは、感染症対策に伴って制限されているものがあります。例えば、教科でいえば体育です。組み合ったり、近づいたりする競技は制限されています。音楽でいえば、大声を出すので歌や合唱は制限されています。家庭課の調理実習は、近くで子供達が活動しますので制限されています。実態としては、やらないでいると教育活動が進みませんので、各校で工夫しながら、例えば音楽であれば、グラウンドに出たり、玄関や体育館の広い場所で歌を歌ったり、近づかないように距離を空けて授業を行ったりしています。あるいは、マスクやフェイスガードを児童生徒用に各学校で購入して、それを活用して調理実習を行ったり、それぞれ工夫してやっている状況です。もうひとつは、大きな行事が進められないということで、運動会や修学旅行が延期されていて、9月に入って各学校でようやく始まるという状況です。本校でも、運動会を6月に予定していましたが、9月14日に行うこととして、まさに今練習をしているところです。暑い時期なので熱中症にも配慮しながら練習をしているという状況であります。各学校では修学旅行もこの後に行います。中学校においては、一般的には道外に行く学校が多かったのですが、今年は行き先を道内に変更しての実施になるとのことです。学芸会、学校祭等もありますが、どういうふうにしようかと考えながら準備をしているところだと思います。保護者やお客さんと呼んで、多くの人に見ていただくという教育活動も制限したり、ルールを決めたりと対応に苦慮しているところです。そんな中で、子供達がそれぞれ元気に過ごすことができるように、校長会でも連携、情報交換をしながら、進めているところであります。

西出会長

コロナ禍における教育活動に対する様々な影響について、お話をいただいたのではないかと思います。

深瀬委員

日頃感じていることを話します。私はいつも自転車に乗って出かけるのですが、最近、小さい自転車に乗った子供が多く出歩いているのをよく見かけ

ます。小学生よりも小さい子供達が集団で並列になったりして自転車で歩いています。小学生は学校で指導しているから良いと思いますが、小さい子供達は全然指導されていないような感じで、右側を走ったり左側を走ったりぐちゃぐちゃに走っています。そういうことで、自転車の乗り方にも気を付けなければならないと思います。公園では、小学生達が自転車をきちんと並べて遊んでいるのですが、小さい子供の自転車はぐちゃぐちゃなので危険だなと思います。

西出会長

自転車の乗り方について、様々な事案等が報道されておりますが、今後、さらに考えていく必要があるのではないかというお話をいただきました。

松下委員

江別市PTA連合会では、保護者を対象として情報モラル講演会を開催しております。えべつスマート4ルールについては資料3で説明がありましたが、少しずつ効果が出てきているのではないかと考えています。新型コロナの関係では、子供達の授業中のマスク着用により熱中症のリスクが高くなるので、市内の小中学校へのエアコン設置の要望書を先日提出しました。

原委員

今年、江別市内で発生している事案を2点お話しさせていただきます。まず1件は、3月に新聞にも掲載されましたが、市内の中学生で、スマートフォンでやりとりをした人にアカウントを不正利用されて、携帯電話の料金が不正に請求されたという被害が数件発生しております。さきほどのスマートフォンの利用ではないですけれども、そういう部分で今後、江別警察署でも指導等をしていかなければならないような事案が発生しております。もう1件は、6月下旬から7月にかけて野幌地区で赤色の髪の不審者が出没して、小中学生に声をかけるという事案が数件発生しました。こちらの赤い髪の男についても、現時点では特定には至っていない状況で、最後7月上旬以降は同様の事案は発生していないのですが、今後も警戒していかなければいけない事案です。通常、4月上旬から5月にかけて小中学校で不審者の訓練や非行防止教室を集中的に実施しておりますが、コロナ禍で学校が休校になって、そのような教室ができなかったり、学校再開後もカリキュラムの関係で延期、中止になっているケースが多い状況で、うちでも工夫して、昼休みの時間帯を利用して校内放送でそのような放送をできませんかと各学校に声掛けをして、実施、計画をしております。小中学生が被害に遭うような事案が発生しておりますので、こちらでも警戒態勢、防犯教室を実施していこうと思いますが、皆さんも指導していただければと思います。

西出会長

養島委員からもありましたが、小・中学校ではコロナ禍における教育活動は、従来と比較して様々な影響を受けており、活動自体がかなり制限される場面が多くなりつつあるようです。また、原委員のお話では、従来実施されてきた非行防止教室等の実施が困難な状況にあることから、昼休みの校内放送を活用して情報を発信し、児童生徒への指導の周知徹底を図る等の方法も紹介されました。本日は、様々な活動等が制限されるコロナ禍における青少年の健全育成について、皆様と情報交換しながら今後の取り組み方についてともに考えていきたいと思っております。

それでは、次は山崎委員から、普段お考えのことなどがありましたらご発言をお願いします。

山崎委員

資料1、29ページのいじめの認知件数が平成29年から30年にかけて増えて、令和元年にはさらに増えており、この増え方に衝撃を受けました。学年

別で見ると1年生と2年生が特に多くなっている、これはおそらく別々の幼稚園などから小学校に上がって、環境が変わったことで何か色々あるのかなと、何となく思ったのですが、一般的に、スマホがやはり色々なじめの原因になってきているのではないかと考えています。えべつスマート4ルールというのは非常に良いと思います。小中学生に対する指導というのは良いと思うのですが、むしろ親自体が、インスタグラムとは何なのか、フェイスブック、ティックトックとは何なのかをそもそもわかっていないという人もいっぱいいる。親が子供の写真を平気でアップするということもあると思います。そういう意味では、親自体のリテラシーを上げていかないと、子供にも教えることができないですし、何か親に向けた取組ができることがあれば良いなと思いました。新型コロナで休校になって、なおさらスマホやゲーム機で、オンラインゲームで戦いながら知らない人と交流したりということありますので、そういった部分で、親側のリテラシーをどう上げていくかが大事になってくるなと思いました。

西出会長

子供たちに対する色々な指導も大切であると思いますが、それらを見守る保護者の認識や理解・協力も併せて総合的に考えていくことが重要であるというご意見だったと思います。

石川副会長

青少年のための市民会議では、主に5点の活動をしております。まずは資料2、17ページにもありますが、健全育成標語です。小学生から一般の方を対象に、青少年の非行防止などについて考えてもらい、健全な生活を過ごすための意識の向上を図る、考える課程を大切にすることで行っております。すばらしい作品は表彰しており、昨年度は小学生から高校生まで464点の応募がありました。2点目は街頭啓発です。市内の店舗前で啓発グッズを市民に配布しており、そのグッズの中に健全育成標語を印刷しております。昨年度は、コープさっぽろ元江別店、イオン江別店、ジョイフルエーカー大麻店の3店舗で行っております。3点目は、少年の主張の江別代表者の選考になります。これは、国立青少年教育振興機構が主催しておりますが、その江別代表の選考となります。この大会は石狩地区大会、全道大会、全国大会へと続きますが、昨年度は、江別市の代表は見事に石狩地区大会で優勝して全道大会へ進んでおります。4点目は、講演会ですが、対象は保護者です。子供を持つ親の皆さんを対象に、盛んに問題になっているスマホやネットなど、時代に即したテーマで講演会を開催しておりますが、昨年度は新型コロナの影響で、残念ながら中止となっております。最後は、善行賞の募集、表彰です。青少年健全育成活動の活性化や促進を目的として、模範となって一生懸命がんばっている皆さんを表彰しています。昨年度は、江別高校の野球部、野幌高校の生徒会執行部、ボランティア部を表彰しております。

西出会長

ありがとうございました。各委員から様々な取組についてお話いただきました。今までのお話の中で、何かご質問、ご意見等はございませんか。

石山委員

全体的に、江別市としては児童が増えているように聞いていたのですが、実際どうなのでしょう。

佐藤室長

江別市内の児童生徒数については、新聞報道にもございましたが、今年は22年ぶりに児童生徒数が増となりました。その要因につきましては、市内の宅地開発等も進んでおり、子育て世代の方、小学生に上がる前の子供がいる方が多く入ってきており、ここ数年そのような状況が続いたことから、つい小中学生が22年ぶりに増になるという形となっております。

石山委員

山崎委員のお話を聞いて、私は現場で実感しておりますのでお話をさせていただきたいと思います。子供達は、この10数年、教えていても全然反応が違います。10年前の生徒達に教えていたこと、これで良いだろうと思っていたことが、今は全然通用しない。なぜかと言うと、これはスマホの影響が大きいと思います。あつという間に使われている、あつという間に情報交換できる、その使ったことが間違っって共有されたりもしますし、だから私どもの会では、LINEは非公式のものであるということで規定しているくらい情報が速い。お話ししたことも伝わりません。言葉が子供達の言葉で伝わっているからです。大人の言葉でお話ししても、大人同士では通じたとしても、大人の言葉で子供にお話ししても通じないのです。10年前の子供のときとは全く違うのです。そのようなところがこれから問題になってくるのだなと思います。子供達は「はい」と言いますし、わかったふりをします。しかし、全然聞いていなくて覚えてはいません。伝わっていないのです。これはさきほど山崎委員がお話ししたようなことが反映しています。親の指導に関しては、講演会を開催していることは知らなかったのですが、是非、私どもの方にも周知していただければありがたいなと思います。

石川副会長

講演会のポスターを色々なところに掲示しているのですが、もう少しPRをしていきたいと思います。

石山委員

是非、江別市のホームページなどで周知をしていただきたいと思います。

西出会長

本日の協議会については、各関係機関でどのような取組が行われているのか、それらの情報を共有すること、併せて、様々な情報を関係者相互で広め合い、理解を深めていく機会として受け止めていただければ有難く思っております。

各委員におかれましては、所属団体において協議された各情報をお伝えいただき、さらなる青少年の健全育成に向けた情報の共有と発信に努めていただければと思っております。

他にご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

全委員

<なし>

西出会長

それでは、次第6 その他ですが、各委員から何かありますか。

全委員

<なし>

事務局から何かありますか。

伊藤主査

今年度第2回目の本協議会の開催につきましては、今のところ未定ですが、必要に応じて開催することとしております。

開催する場合は、事務局からご案内をいたしますので、皆様、ご出席いただきますようよろしくお願いいたします。

西出会長

そのほか、各委員からございませんか。

全委員

<なし>

西出会長

それでは、以上で、令和2年度第1回江別市青少年健全育成協議会を閉会  
いたします。  
本日は、ありがとうございました。